

第3回豊明市総合計画審議会議事録

平成27年3月20日（金）
午後1時30分～3時30分
豊明市文化会館ギャラリー

1. 挨拶

○ 会長あいさつ

第3回審議会にご参加いただきありがとうございます。昨年9月29日に第2回審議会を開催してから約半年が経ちましたが、この間に描き隊、市民の皆様、職員の皆様、事務局で、ずいぶん作業を進めていただいたと聞いています。計画を料理に例えるなら、前回までに献立を決めて材料を徐々に買い揃え、今日までに基本的な調理を終えたところだと思います。今日からまた少し味付けをして、きれいに盛り付けて料理を完成させていく段階に来ています。私どもの計画の優れているところは、事務局が用意したものを選ぶのではなく、描き隊を中心に市民のみなさまが主体者となって計画をつくっているところだと思います。審議会で味付けを加えることができればと思っていますので、よろしくお願いいたします。

○ 石川市長あいさつ

小川会長始め、委員の皆様にはお忙しい中、第3回総合計画審議会にご参加いただきまして、本当にありがとうございます。小川会長からもお話いただいたように、ワーキング作業については一段落したところです。この間、まちの未来を描き隊の皆様や、地域の皆様から色々な意見をいただきました。今後は基本計画の本文に入っていきます。委員の皆様にもめざそう値・役割分担値のアンケートにご協力いただき、大変感謝しています。今日はその結果についてご報告いたしますので、ご意見いただければと思います。

アンケート結果を見ると、市民の皆様も、目標達成に対して行政だけでなく市民・企業などの役割も大きいと考えていることが分かりました。地域主権と言われ始めて久しいですが、自治のあり方について行政も反省し、行政経営を推進していかなければならないと思います。第5次総合計画は行政の事業ありきでなく、目標を掲げ、その目標達成のためにどういうまちづくりをするかを市民の皆さまと一体となって考えていくものであるということを、皆様にご理解いただきたいと思います。

今日は忌憚のないご意見をいただき、次に繋げて参りたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

○ 交代及び前回欠席の委員あいさつ

大越委員、外山委員

2. 議題

(1) めざそう値・役割分担値について

○ 事務局（企画政策課長）より資料 1、2 及び 3 に基づき説明

● 質疑

（兼子委員）

めざすまちの姿 37 の指標 2 財政力指数について、インターネットで調べたところ 2012 年が 0.89 となっていた。2013 年の値が出ていれば教えてほしい。

（行政経営部長）

2013 年も 0.89 です。財政力指数の全国平均は 0.5 程度です。愛知県は非常に恵まれており、54 自治体のうち 1.0 を超えている自治体が 13 ございます。豊明市の 0.89 という値は、全国 1700 以上ある自治体のうち、300 番台ということで、決して悪い値ではありません。

（眞田委員）

私の個人的な感覚と、役割分担値の結果にズレがあると感じる。たとえばめざすまちの姿 20「子どもが良いことと悪いことの区別ができる」について、私は「子どもは社会で育てる」という考えではありますが、基本になるのは家庭だと思います。役割分担値のうち、家庭の割合が 18.5%というのは、どうしてこの値になるのか、あまりにも低いのではないかと疑問を感じます。

（企画政策課長）

役割分担値の算出方法は、委員の皆様にもご協力いただきましたアンケートで、主体別に期待する役割の大きさを 1 から 5 までで丸をつけていただきました。これを平均し、パーセントで表したものが資料 3 です。

（海老原委員）

めざすまちの姿 20 の指標 5「子どもの補導件数」について、子どもとは何歳までを指しているのか。また、この「子どもが良いことと悪いことの区別ができる」の区・町内会の役割分担値が 14.4%となっているが、区や町内会としてどう役割を担っていけば良いのか疑問。

（教育部長）

年齢は 20 歳未満、少年法という「補導」の件数を、愛知警察署に問い合わせたものです。

（企画政策課長）

役割分担値はあくまで目安です。この割合で何かをやらなければいけないというわけではなく、総合計画を読んでいただく方が役割分担値を見て「自分もこれくらいの役割を担うことができる主体者なんだ」という気付きや、後押しになるように設定したいと思います。

(斉藤委員)

資料 1 の紙面イメージについて、役割分担値の見せ方が、帯グラフの行政部分から矢印で施策に繋がっている。これだと行政が 3 分の 1 しかやらないのではないかと誤解されてしまう。役割“分担”値という表現も、期待値ですという説明書きはあるが、グラフから出る矢印のイメージとして行政はこれだけしかやらないのかという誤解を生んでしまうのではないか。表現方法の工夫を検討してほしい。

(行政経営部長)

私どもが役割分担値に取り組んだ経緯は、市民生活の向上は行政だけではできない、市民、企業など色々な方に担っていただく役割が大きくなるということを、明確化しようというものでした。今ご指摘いただいた、割合の大小については、市民、委員の皆様、職員のアンケート結果の平均によるものですが、誤解を招きかねないということもあります。行政だけではまちづくりはできないということを念頭に置いた計画策定ですので、斉藤委員からご指摘いただいたように誤解を受けない表現に改良していきたいと考えています。

(眞田委員)

市長が新しい公共という表現を使われているが、大きな政府か小さな政府かということで、市民がやれることをやるということが新しい公共の方向性ではないかと私は思っている。ただ、この役割分担値を私が審議委員として認めたという抵抗がある。役割分担値の算出方法も本当にこれで良いのか吟味し、表現の仕方も工夫が必要。

(兼子委員)

役割分担値の割合をパーセント表示にしているが、設問によってはグラフの種類を変更するのもひとつの方法ではないか。たとえばめざすまちの姿 20「子どもが良いことと悪いことの区別ができる」については、実際には球体で考える必要がある。球体の中心、コアの部分の 18.5%が個人・家庭で、その外側に学校や区・町内会があるのではないか。役割分担値のパーセントはアンケート結果を尊重するとして、単純に次元ではなく表示することが適切な設問もある。

(小川会長)

役割分担には数値だけでなく質・位置もあるというご指摘かと思いますので、事務局で検討をお願いします。

(2) 市民ができることについて

○ 事務局（企画政策課長）より資料 4 に基づき説明

● 策定した描き隊から意見、感想

(太田委員)

「市民ができること」のアイデアを提案した。この前にまちづくり指標を考えていたの

で、指標をイメージしながら各分科会で考えた。描き隊ではどちらかというとまちづくり指標に多くの時間を割いたので、市民ができることについて駆け足になった部分もあり、審議会で色々なご意見をいただきたいと思う。私自身子育て中だが、子どもの教育に家庭が一番大事なのは当たり前のことで、ただ現代においては個々の家庭の価値観が様々であり、一般的には考えられないような家庭の中にはある。たとえばNPOが関わっていくことや、区・町内会の行事を通して子どもが善悪を伝えるなど、そういう意味での役割分担ができれば良いと思い、市民ができることの中に多様な主体者として盛り込んでいった。「役割分担値が何パーセントだからこれだけのことをやらなければならない」ではなく、「これぐらいのことはできるんじゃないか」という気付きになれば。ただ、ご指摘のとおり表現の工夫が必要だと思うので、また描き隊からも意見を出したいと思う。

(加藤委員)

私も太田隊長と一緒に去年の3月から1年間、延べ25回活動した。10代の方から70代の方まで集まり、大変充実した1年間だったと思う。最終的なアウトプットの資料1の中で、一番肝となる部分が「市民が考えた市民ができること」ではないかと思う。私は行政経営の分科会だったが、行政が行う活動の中で市民に何ができるか大変苦労したが、こういったことを我々が考え、総合計画が出た中で市民一人ひとりが自分には何ができるかと考えていただけるということが一番大事なのではないかと考えています。

● 質疑

なし

(3) まちづくり報告会について

○ 事務局（企画政策課長）より報告

● 参加した委員の感想

(太田委員)

3中学校区に分け、身近な地域であるということで多くの方に集まっていたかと思う。今後も計画推進において地域で活動していけたらと思う。先ほど事務局からも説明があったが、最上位計画である総合計画と個別計画の整合性を図っていくことが重要。そして地域の人をどう巻き込んでいくか、今回報告会に参加してくれた人が、多様な主体者のひとりになってくれればと思う。

(加藤委員)

私も3回参加したが、非常に寒い中これだけ多くの方が集まっていたことに驚き、関心の高さを感じた。ひとつ率直な印象を申し上げると、高齢の男性の参加者が非常に多かった。ダイバーシティという視点では、これから地域で将来を担う女性や若い方がもっ

と参加していただければ、もっと良かったのではないかと思います。

(海老原委員)

地域別計画では、中学生から 70 代まで幅広く参加して積極的な提案が出されており、まとまっていて良かったと思う。

(兼子委員)

沓掛中学校区に参加した。加藤委員が仰ったように、高齢の男性が多かったので、もっと若い方や女性の参加を実現させる方策があると良いと思う。

(土方委員)

審議会委員として、皆さんのご意見を聞きたいと思い参加した。年配の方が多いのは事実だが、若い人の声が聞きたければ成人式や P T A の総会などにこちらから出向かなければならないと思う。

(田口委員)

沓掛中学校区に参加した。たくさんの方が集まっただき、描き隊の方の一生懸命な活動報告がとても良かった。女性が少ないと感じた。若い方が参加できるようになれば良いと思った。

(前田委員)

豊明中学校区に参加した。寒かったが、発表者の方の熱弁を聞いて大変感心した。私もひとつ「協働」の意味について質問し、「同じ役割を分担するのではなく、目標に対してそれぞれが行うべきことを行う」ことだと聞けて良かった。

(外山委員)

栄中学校区に参加した。描き隊の方が一生懸命に発表されていて、資料作りなども本当に大変だったと思う。もっと P R をして、もっと多くの方に参加していただければ良かったと思う。

(小川会長)

フェイスブックで写真を拝見したが、多くの方が参加していることに感心した。委員の皆様感想を聞いて、内容も素晴らしかったのだと感じた。重要なのは計画をどう実現していくかであり、若い方も参加している描き隊を中心とした市民の皆様が、計画を推進していく主体者としての意識を高めるきっかけになったのではないかと思います。計画を作って、それを市民の皆様にお知らせする中で、いかに多くの市民の方に参加していただけるかが大事である。

● 質疑

なし

(4) キャッチフレーズについて

- 事務局（企画政策課長）より資料 5、6 に基づき説明

● 質疑

(太田委員)

描き隊のメンバーにも提案を呼び掛けたいと思う。

(5) 今後のスケジュールについて

- 事務局（企画政策課長）より資料 7 に基づき説明

● 質疑

なし

3. その他

次回開催は 7 月 6 日(月)午後の予定。後日文書にて案内を送付。

出席委員	兼子幸夫、成田勝幸、海老原勉、外山隆一、酒井克俊、土方治、原由実子、長山加代子、田口一子、小川雄二、眞田明、堀井敏秀、大石雅子、前田稔、太田博文、加藤浩彦、斉藤克彦、丸山創平、大越俊則、山田緑、加藤年春、小田早樹子
欠席委員	寺田正樹、松井俊和、宮本慶子、近藤勇人、安藤仁（岸様代理出席）、安江政司、近藤二
市職員	市長、教育長、行政経営部長、市民生活部長、健康福祉部長、経済建設部長、教育部長、議会事務局長、消防長
事務局	企画政策課長、企画政策課長補佐兼政策推進担当係長、経営管理担当係長、企画政策課職員 2 名、(特非)市民フォーラム 21・NPO センター 藤岡、島

第3回総合計画審議会 次第

日時 平成 27 年 3 月 20 日(金)
午後1時 30 分～3 時 30 分
会場 豊明市文化会館ギャラリー

1. 挨拶

2. 議題

(1)めざそう値・役割分担値について

(2)市民ができることについて

(3)まちづくり報告会について

(4)キャッチフレーズについて

(5)今後のスケジュールについて

3. その他

◇配布資料

- 資料1 … 総計紙面イメージ
- 資料2 … まちづくり指標『めざそう値』(案)
- 資料3 … 役割分担値(案)
- 資料4 … 市民ができること(案)
- 資料5 … キャッチフレーズの検討手法について(案)
- 資料6 … めざすまちの姿マトリクス(分野×理念)
- 資料7 … 第 5 次豊明市総合計画策定スケジュール

めざすまちの姿

子ども、高齢者、障がい者等への虐待やDVなどがない

現状と課題

総計紙面イメージ

まちづくり指標

「めざすまちの姿」の達成状況を測定するための手がかりとして、活用していきます。

まちづくり指標	現状値	5年後	10年後
虐待やDVなどが起こらないように見守る地域のネットワークができていると認めている市民の割合	23.1%		
虐待、DVの件数	相談件数 1,685件 認定件数 59件		
虐待やDVなどに遭遇したときにためらいなく通報できていると認めている市民の割合	58.3%		
まわりに助けを求めることができる人がいる子ども、高齢者、障がい者等の割合	子ども 85.7% 高齢者 59.7% 障がい者 70.9%		

市の施策

社会的弱者への虐待やDVなどを減らす

家族など社会的弱者を支援する人が日常生活に関する悩みがない環境をつくる

市民の知識と自覚を高め、早期発見への協力を促進する

関係機関と連携して早期発見と素早い対応に努める

役割分担値

「めざすまちの姿」を実現していく上での、各まちづくりの主体の期待値を表しています



市民が考えた市民ができること

- 子どもや高齢者、障がい者等への虐待やDV等の状況を理解するための勉強会等を行います。
- 地域で相談会等の場をつくり、虐待やDVを未然に防ぐ努力をします。
- 虐待やDVを見つけたら、警察等へ通報します。
- 地域のおせっかい者を増やし、虐待を個々の家庭の問題ではなく、社会の問題として捉えます。



まちづくり指標『めざそう値』(案)

めざすまちの姿		まちづくり指標			項目	単位	現状値	めざそう値(案)	
							①全体の平均値		
1	子ども、高齢者、障がい者等への虐待やDVなどがない	1	主観	虐待やDVなどが起こらないように見守る地域のネットワークができていると思っている市民の割合	-	%	23.1%	5年後	35.3
								10年後	49.5
		2	客観	虐待、DVの件数	相談件数	件	1,685	5年後	1,780
					認定件数	件	59	10年後	1,909
								5年後	42
								10年後	29
		3	主観	虐待やDVなどに遭遇したときにためらいなく通報できと思っている市民の割合	-	%	58.3%	5年後	69.0
								10年後	79.3
		4	主観	まわりに助けを求めることができる人がいる子ども、高齢者、障がい者等の割合	子ども	%	85.7%	5年後	90.7
					高齢者	%	59.7%	10年後	94.1
2	子どもから高齢者まで気軽にスポーツを楽しみ、健康に暮らしている				障がい者	%	70.9%	5年後	68.0
								10年後	75.6
		1	主観	スポーツをするために必要な情報が得られている市民の割合	-	%	30.4%	5年後	78.9
								10年後	85.3
		2	主観	スポーツを教えてくれる人がいると思う市民の割合	-	%	24.6%	5年後	44.8
								10年後	58.7
		3	主観	スポーツを楽しむことができている市民の割合	-	%	37.1%	5年後	35.6
								10年後	46.4
3	多様な主体者が連携して、将来を見据えた医療や福祉の戦略を実行しており、市民が安心している	4	客観	医療機関にかかっていない市民の割合	-	%	15.2%	5年後	47.7
								10年後	58.9
		1	主観	医療や福祉施設、制度の利用者の満足度	-	%	49.6%	5年後	21.8
								10年後	29.2
		2	客観	利用できる医療施設、福祉施設の数	-		143	5年後	153
								10年後	161
4	元気なじいちゃん、ばあちゃんの姿を見て、若い世代が老後の生き方に夢をもつことができる	3	客観	医療や福祉分野における連携プロジェクトの数(具体的な事業数のため運営協議会等は除く)	-	件	2	5年後	6
								10年後	11
		1	主観	近所の高齢者がいきいきしていると思っている市民の割合	-	%	54.9%	5年後	63.7
								10年後	71.4
		2	主観	人生が楽しいと感じている高齢者の割合(65歳以上)	-	%	75.2%	5年後	80.6
								10年後	85.7
5	誰もが身近に寄り合える場所があり、地域の人と支え合いながら孤立することなく暮らすことができる	3	主観	老後の生き方に夢があると思っている若者の割合(50代以下)	-	%	18.4%	5年後	29.1
								10年後	40.3
		1	客観	1日1回以上家族以外の人と会話をしている市民の割合	-	%	71.3%	5年後	78.1
								10年後	84.9
		2	主観	日常の中で困っている人に声掛けができている市民の割合	-	%	44.3%	5年後	53.8
								10年後	63.4
		3	主観	地域から孤立していないと思っている市民の割合	-	%	75.8%	5年後	81.6
								10年後	87.0

まちづくり指標『めざそう値』(案)

めざすまちの姿		まちづくり指標			項目	単位	現状値	めざそう値(案)	
								①全体の平均値	
6	支援が必要な人の家族の負担が軽減され、日常生活で困っていない	1	主観	介護で困ったときに助けを求めることができる友だちや専門機関があると思う家族の割合	－	%	57.0%	5年後	66.1
								10年後	74.6
		2	客観	1週間のうち1回は自分の時間をもっている家族の割合	－	%	69.0%	5年後	76.3
								10年後	83.4
		3	主観	支援が必要になったときに活用できるサービスを知っている市民の割合	－	%	40.7%	5年後	55.7
								10年後	69.0
7	子どもを産み育てやすいまちになっており、子どもの数が増えている	1	主観	子育てが楽しいと思っている市民の割合	－	%	84.5%	5年後	88.8
								10年後	92.3
		2	客観	0～14歳の子どもの数	－	人	9,749	5年後	10,011
								10年後	10,445
		3	客観	豊明市の出生率	－	人／千人	8.1	5年後	8.8
								10年後	10.1
		4	客観	市内にある小児科、産婦人科の数	－		3	5年後	4
								10年後	5
8	高齢者、障がい者など誰でも居場所と出番があり、経験や知識を活かして働き、収入と生きがいを得ている	1	主観	自分の働き方に満足している高齢者、障がい者の割合	高齢者	%	87.7%	5年後	90.2
					障がい者	%	64.2%	10年後	92.6
								5年後	69.9
								10年後	75.9
		2	客観	高齢者、障がい者を雇用している企業・事業所数	－		49	5年後	60
								10年後	71
		3	主観	働く意欲をもっている高齢者、障がい者の割合	高齢者	%	55.4%	5年後	63.0
					障がい者	%	70.3%	10年後	69.8
								5年後	76.4
								10年後	81.4
		4	主観	自分の経験や知識を活かすことができていると思う高齢者、障がい者の割合	高齢者	%	86.3%	5年後	89.6
					障がい者	%	63.5%	10年後	91.9
								5年後	68.5
								10年後	73.3
9	まちが明るく、地域の防犯活動が活発で、犯罪が少ない	1	客観	自主防犯ボランティア団体の登録数	－		61	5年後	71
								10年後	81
		2	客観	犯罪発生件数	－	件	833	5年後	712
								10年後	597
		3	主観	この1年で、市内で怖い思いをしたことのある市民の割合	－	%	6.0%	5年後	4.6
								10年後	3.4
10	人通りが多い場所でもごみが落ちておらず、まちがきれいである	1	主観	まちがきれいだと感じている市民の割合	－	%	59.3%	5年後	67.1
								10年後	75.2
		2	客観	アダプトプログラム(公園、道路、河川等の清掃美化ボランティア活動)参加者に配布したゴミ袋の枚数／年間	－	枚	1,150	5年後	1,349
								10年後	1,560
		3	主観	積極的に清掃活動に参加している市民の割合	－	%	43.6%	5年後	52.7
								10年後	62.0

まちづくり指標『めざそう値』(案)

めざすまちの姿		まちづくり指標			項目	単位	現状値	めざそう値(案)	
								①全体の平均値	
11	子どもが地域とつながり、大人になったときにも地域で活動している	1	客観	地域の活動に参加している子どもの割合	—	%	72.1%	5年後	77.7
								10年後	83.5
		2	主観	地域に愛着をもち、地域の活動に参加している大人の割合	—	%	63.7%	5年後	70.7
								10年後	77.5
		3	客観	近所で5人以上の大人の名前が言える子どもの割合	—	%	50.4%	5年後	60.7
								10年後	69.5
12	災害時に行政と民間、地域、近隣市町村との連携がとれている	1	客観	一年間に防災訓練に参加した団体の数	—		30	5年後	45
								10年後	58
		2	客観	他自治体及び民間との災害に関する協定の数	—		48	5年後	55
								10年後	63
		3	主観	災害時に備えて行政・民間の情報共有ができていていると思う市民の割合	—	%	31.5%	5年後	44.9
								10年後	57.1
13	防災を行政任せにせず、普段から家庭と地域の準備と連携が十分できており、災害時には助け合うことができる	1	客観	家庭で防災対策をしている市民の割合(備蓄・避難場所の確認など)	—	%	57.2%	5年後	67.8
								10年後	77.4
		2	主観	普段から地域で災害時の対応について話し合っている市民の割合	—	%	28.4%	5年後	41.5
								10年後	54.6
		3	客観	実体験できる講習の回数(応急手当、初期消火など)/年間	—	回	344	5年後	362
								10年後	378
14	子どもが元気に外で遊んでいる	4	客観	火災に備えて住宅用火災警報器が設置してある割合	—	%	71.0%	5年後	80.4
								10年後	89.1
		1	主観	自由に楽しく体を動かさせていると思う子どもの割合	—	%	56.2%	5年後	65.5
								10年後	74.6
		2	主観	子どもが外で元気に安全に遊べると感じている保護者の割合	—	%	35.1%	5年後	46.4
								10年後	57.9
15	若い世代も地域で活動し、地域の自治力が高まっている	3	主観	子どもが元気に外で遊んでいると思う市民の割合	—	%	39.0%	5年後	49.7
								10年後	60.2
		1	客観	地域の活動に参加している若者の割合	—	%	67.8%	5年後	73.7
								10年後	79.4
		2	主観	自分たちの考えが地域の活動に取り入れられていると思う若者の割合	—	%	11.1%	5年後	22.2
								10年後	34.0
16	若い人が豊明市を自分たちのまちとして愛着をもち、新しい感性を活かし、まちづくりが進められている	3	主観	若い世代の地域での活動を尊重し、応援している65歳以上の人の割合	—	%	57.0%	5年後	65.8
								10年後	73.2
		4	客観	町内会の加入率	—	%	78.0%	5年後	83.0
								10年後	87.3
		1	主観	豊明が大好きな若者の割合	—	%	74.0%	5年後	79.9
								10年後	85.4
16		2	主観	まちづくりに参加できていると感じている若者の割合	—	%	16.2%	5年後	26.1
								10年後	36.7
		3	客観	市民提案型まちづくり事業交付金の交付団体数	—		11	5年後	16
								10年後	21

まちづくり指標『めざそう値』(案)

めざすまちの姿		まちづくり指標			項目	単位	現状値	めざそう値(案)	
								①全体の平均値	
17	女性が職場や地域で活躍し続けている	1	主観	職場で働きやすいと感じている女性の割合	－	%	35.4%	5年後	45.4
								10年後	56.7
		2	客観	育児休暇後に継続して働き続けている女性の割合	－	%	70.9%	5年後	76.9
								10年後	82.3
		3	客観	市内企業における女性管理職の割合	－	%	10.2%	5年後	17.3
								10年後	24.4
		4	客観	町内会長・区長に占める女性の割合	－	%	6.0%	5年後	12.7
								10年後	18.8
		5	客観	男性の育児(介護)休暇取得者数	－	人	1	5年後	9
								10年後	18
		6	客観	男性一人あたりの平均1日家事時間	－	分	70.6	5年後	90.6
								10年後	110.1
18	行政や地域が発信する情報を市民が積極的に共有し、活用している	1	主観	必要な情報を得るための手段をわかっている市民の割合	－	%	40.3%	5年後	52.9
								10年後	64.3
		2	主観	この1年間で、地域の人同士で、まちのことについて意見交換した市民の割合	－	%	19.6%	5年後	29.2
								10年後	39.9
		3	客観	市長への手紙・Eメールの件数	－	件	111	5年後	133
								10年後	155
		4	主観	行政や地域の情報を得て、イベントや集まりに参加している市民の割合	－	%	45.8%	5年後	55.1
								10年後	63.8
19	いじめや自殺、引きこもりがない	1	主観	学校以外の習い事やグループで友達ができただどもの割合	－	%	83.2%	5年後	86.7
								10年後	90.1
		2	客観	不登校の子どもの数	－	人	87	5年後	66
								10年後	49
		3	客観	学校でのいじめ件数	－	件	85	5年後	63
								10年後	48
		4	客観	市内の自殺者数	－	人	12	5年後	8
								10年後	5
20	子どもが良いことと悪いことの区別ができる	1	主観	よその子どもを褒めたり注意したりできる市民の割合	－	%	53.7%	5年後	63.3
								10年後	71.8
		2	主観	良いことと悪いことの区別ができていると思う子どもの割合	－	%	79.8%	5年後	84.9
								10年後	89.0
		3	主観	親子のコミュニケーションがとれていると思う親の割合・子どもの割合	保護者	%	91.1%	5年後	94.4
					子ども	%	87.9%	10年後	96.3
								5年後	91.3
								10年後	93.8
		4	主観	悪いことをしている友達などを見たときに注意できる子どもの割合	－	%	54.6%	5年後	64.3
								10年後	72.2
		5	客観	子どもの補導件数	－	件	742	5年後	591
								10年後	472

まちづくり指標『めざそう値』(案)

めざすまちの姿		まちづくり指標			項目	単位	現状値	めざそう値(案)	
							①全体の平均値		
21	教育や子どもに関する予算が確保され、子どもの教育環境がよい	1	主観	子どもにとって必要な教育環境が整っていると思う市民の割合	-	%	44.3%	5年後	55.3
								10年後	64.8
		2	主観	子どもにとって必要なところに予算配分がされていると思う教育関係者の割合	-	%	13.1%	5年後	25.4
								10年後	38.7
		3	客観	歳出の内、教育や子どもための予算の割合	予算額	百万円	3479	5年後	3636
					割合	%	19.5%	10年後	3788
22	子どもが、ずっと育ってきた豊明を大好きでいる	1	主観	自然が大切にされていると思っている市民の割合	-	%	64.8%	5年後	70.7
								10年後	76.9
		2	主観	豊明を自慢できる市民の割合	-	%	39.3%	5年後	49.3
								10年後	59.1
		3	客観	ふるさと納税の件数と金額	金額	千円	12	5年後	1,000
					件数	件	2	10年後	5,000
23	すべての子どもが質の高い学びに参加し、生きるための学力が向上している	1	主観	学校で学ぶことが楽しいと思う子どもの割合	-	%	66.6%	5年後	74.1
								10年後	81.7
		2	主観	悪いことを正されたり、いいところを褒められたりして自分の行動が変わったと感じる子どもの割合	-	%	76.6%	5年後	81.4
								10年後	86.2
		3	主観	学習と日常生活につながりを感じている子どもの割合	-	%	77.1%	5年後	81.6
								10年後	86.1
		4	主観	授業から置いてけぼりになっていない子どもの割合	-	%	57.4%	5年後	66.6
								10年後	75.1
		5	主観	前よりも勉強や運動ができるようになったと思う子どもの割合	-	%	79.7%	5年後	84.2
								10年後	88.3
		6	客観	学校生活に満足している子どもの割合	-	%	53.0%	5年後	63.8
								10年後	72.7
24	子どもの個性や感性を尊重し、伸ばしている	1	主観	一人ひとりの個性や違いを受け入れていると思う市民の割合	-	%	84.4%	5年後	87.5
								10年後	90.3
		2	客観	子どもが参加できる教室やサークルの数	-		33	5年後	43
								10年後	53
		3	主観	積極的に自分の好きなことを見つけて取り組んでいる子どもの割合	-	%	84.9%	5年後	88.1
								10年後	90.9
		4	主観	子どもの行動に対して親の価値観でコントロールしていない親の割合	-	%	35.4%	5年後	44.3
								10年後	53.9

まちづくり指標『めざそう値』(案)

めざすまちの姿		まちづくり指標			項目	単位	現状値	めざそう値(案)	
							①全体の平均値		
25	子どもが夢を持ち、将来グローバル(グローバル+ローカル)に活躍できる人材に育っている	1	主観	将来に夢をもっている子どもの割合	-	%	68.9%	5年後	75.4
								10年後	82.2
		2	主観	自分の地域や国のことに誇りを持っている市民の割合	-	%	55.9%	5年後	64.7
								10年後	73.2
		3	主観	いろんな国の人々とコミュニケーションをとろうとしている市民の割合	-	%	30.4%	5年後	40.7
								10年後	51.2
		4	主観	豊明市で育った人が活躍していると思う市民の割合	-	%	22.2%	5年後	31.1
								10年後	40.2
26	市民が豊明の歴史・伝統・文化に誇りを持ち、次世代が継承し創造している	1	主観	(この1年で)市外の人に豊明の歴史・伝統・文化の展示会やイベント等を伝えたことのある市民の割合	-	%	20.5%	5年後	31.5
								10年後	41.1
		2	主観	高校生・大学生が歴史・伝統・文化を通して人とつながっていると思っている市民の割合	-	%	12.9%	5年後	23.0
								10年後	31.6
		3	主観	自発的に文化を創造できるような環境が豊明にあると思っている市民の割合	-	%	16.5%	5年後	24.7
								10年後	33.6
		4	主観	豊明の歴史・伝統・文化に誇りをもっている市民の割合	-	%	45.7%	5年後	55.0
								10年後	64.1
27	道路環境がよく、歩行者も自転車も自動車も安全に通行することができる	1	主観	交通マナーが良くなったと思う市民の割合	-	%	39.1%	5年後	49.0
								10年後	58.9
		2	主観	安全に通行するための適切な交通規制や対策があると思う市民の割合	-	%	39.1%	5年後	48.1
								10年後	57.8
		3	主観	道路がスムーズに走れると感じる市民の割合	-	%	40.1%	5年後	50.3
								10年後	60.1
		4	客観	交通事故発生件数(歩行者・自転車・自動車)	-	件	403	5年後	329
								10年後	265
28	交通の利便性がよく、市外から人が移り住んだり、通勤・通学している	1	主観	交通アクセスが良くなったと思う市民の割合	-	%	59.3%	5年後	66.7
								10年後	73.2
		2	客観	豊明3駅の年間利用者数	-	千人	11,930	5年後	12,933
								10年後	14,006
		3	客観	転入者数(年間)	転入者数	人	3,327	5年後	3,636
								10年後	3,959
				転出者数(年間)	転出者数	人	3,281	5年後	2,996
								10年後	2,793
29	空気がきれいである	1	主観	空気がきれいだと感じている市民の割合	-	%	71.8%	5年後	76.6
								10年後	81.3
		2	客観	一人当たりの公園・緑地面積	-	m ²	9.4	5年後	9.9
								10年後	10.4
		3	客観	大気中の汚染物質の基準値に対する豊明市の数値(二酸化窒素)	二酸化窒素	ppm	0.012	5年後	0.011
								10年後	0.009
				大気中の汚染物質の基準値に対する豊明市の数値(浮遊粒子状物)	浮遊粒子状物	mg/m ³	0.02	5年後	0.017
								10年後	0.015
			客観	大気中の汚染物質の基準値に対する豊明市の数値(光化学オキシダント)	光化学オキシダント	ppm	0.03	5年後	0.026
								10年後	0.023

まちづくり指標『めざそう値』(案)

めざすまちの姿		まちづくり指標			項目	単位	現状値	めざそう値(案)	
								①全体の平均値	
30	日常生活は自然に親しむことができると同時に生活に不自由のないコンパクトシティとなっている	1	主観	買い物や窓口行政サービスが便利になったと感じている市民の割合	-	%	57.4%	5年後	65.1
								10年後	72.6
		2	主観	市内の移動がしやすくなったと思う市民の割合	-	%	59.3%	5年後	66.5
								10年後	73.0
		3	主観	身近に自然に親しむことができる場所があると思う市民の割合	-	%	62.2%	5年後	68.4
								10年後	74.6
		4	客観	市街化区域内人口の割合	-	%	74.7%	5年後	76.8
								10年後	78.7
31	豊明市に魅力があふれ、「通過するまち」から、「足を運んでくれるまち」になっている	1	客観	市内のイベント、お店、施設がメディアで紹介された件数	-	件	123	5年後	148
								10年後	172
		2	客観	市外から人を呼べるような場やイベントなどがあると思う市民の割合	-	%	21.2%	5年後	31.1
								10年後	40.1
		3	客観	豊明インターを利用した自動車数	-	台	33,700	5年後	35,596
								10年後	37,916
32	市内に遊ぶ場所や働く場所があり、豊明市が潤っている	1	客観	市外から豊明市に働きに来ている人の数	-	人	3,593	5年後	3,949
								10年後	4,344
		2	客観	法人市民税額	-	千円	687,361	5年後	699,370
								10年後	715,528
		3	客観	農業産出量	米	kg	553,770	5年後	560,375
								10年後	565,530
					麦	kg	14,093	5年後	17,092
								10年後	19,746
					大豆	kg	11,107	5年後	11,937
								10年後	12,442
		4	主観	市外から豊明市に遊びに来ている人が多いと思う市民の割合	-	%	43.0%	5年後	49.4
								10年後	56.4
33	若い人たちが地元で働ける	1	客観	有効求人倍率	-	倍	1.16	5年後	1.34
								10年後	1.44
		2	客観	市内在住者の市内就業者数	-	人	1,529	5年後	1,775
								10年後	2,014
		3	客観	新規起業者数(50代以下)	-	人	80	5年後	100
								10年後	124
		4	主観	市内で働くための情報が得やすいと思っている若者の割合(50代以下)	-	%	7.8%	5年後	19.3
								10年後	30.8
		5	主観	市内在住者で市内で働きたいと思っている若者の割合	-	%	48.3%	5年後	55.8
								10年後	62.8

まちづくり指標『めざそう値』(案)

めざすまちの姿		まちづくり指標			項目	単位	現状値	めざそう値(案)	
								①全体の平均値	
34	エネルギーの地産地消をめざし、再生可能エネルギーの利活用を行っている	1	客観	中部電力に売電された市内のソーラー発電の電力量	-	千Kwh	5,016	5年後	5,983
								10年後	7,225
		2	主観	再生可能エネルギーを利用したいと思う市民の割合	-	%	65.9%	5年後	72.1
								10年後	78.8
		3	主観	豊明市内で再生可能エネルギーの施設が増えたと思う市民の割合	-	%	39.3%	5年後	47.9
								10年後	57.5
		4	客観	太陽光パネル設置補助の(累積)申請件数	-	件	163	5年後	266
								10年後	427
35	行政は積極的に市民からの意見を吸い上げる工夫や努力をしている	1	主観	偏らず、広く市民の声を聞く努力をして、必要に応じて事業に反映していると思う職員の割合	-	%	63.4%	5年後	71.3
								10年後	79.3
		2	主観	年1回は、行政に関心をもって積極的に働きかけている市民の割合	-	%	3.7%	5年後	12.3
								10年後	21.3
		3	客観	市民からの意見を吸い上げる制度の実施回数	-	回	16	5年後	21
								10年後	25
		4	客観	附属機関等の公募委員の応募倍率	-	倍	1	5年後	1.7
								10年後	2.3
36	世代、性別などで不公平感のない予算配分や施策となっている	1	主観	世代で不公平感のない予算配分や施策となっていると思う市民の割合	-	%	17.8%	5年後	26.9
								10年後	37.1
		2	主観	世代で不公平感のない予算配分や施策となっていると思う市職員の割合	-	%	58.4%	5年後	66.8
								10年後	74.1
		3	主観	性別で不公平感のない予算配分や施策となっていると思う市民の割合	-	%	28.9%	5年後	39.2
								10年後	49.4
		4	主観	性別で不公平感のない予算配分や施策となっていると思う市職員の割合	-	%	79.2%	5年後	84.0
								10年後	88.2
37	税収が確保され、持続可能な財政運営となっている	1	主観	行政が税金の使い方について説明責任を果たしていると思う市民の割合	-	%	22.3%	5年後	35.4
								10年後	47.6
		2	客観	財政力指数	-		0.89	5年後	検討中
								10年後	検討中
		3	客観	経常収支比率	-	%	80.80%	5年後	検討中
								10年後	検討中
		4	客観	実質公債費比率	-	%	2.50%	5年後	検討中
								10年後	検討中
		5	客観	将来負担比率	-	%	-8.1%	5年後	検討中
								10年後	検討中
38	市職員の顧客サービス向上の意識が高く、市民のほうを見て仕事をしている	1	主観	市職員の顧客サービスが高いと思う市民の割合・市職員の割合	市民	%	35.8%	5年後	46.1
								10年後	56.7
					市職員	%	74.1%	5年後	79.7
								10年後	84.9
		2	主観	ワンストップサービスができていると思う市民の割合	-	%	66.3%	5年後	73.8
								10年後	80.3
		3	客観	窓口対応についての市民の苦情件数	-	件	10	5年後	7
								10年後	5
		4	主観	市民からの要望・苦情に対して行政が改善を行っていると感じる市民の割合	-	%	35.5%	5年後	47.5
								10年後	59.4

まちづくり指標『めざそう値』(案)

めざすまちの姿		まちづくり指標			項目	単位	現状値	めざそう値(案)	
								①全体の平均値	
39	市長や議会、行政は、まちを良くしていくために外からの知識を吸収し、失敗を恐れず果敢にチャレンジしている	1	主観	先を見据えた仕事ができている市職員の割合	－	%	49.4%	5年後	60.7
								10年後	70.8
		2	客観	他団体からの視察を受け入れた回数	－	回	28	5年後	37
								10年後	47
		3	主観	議員の政策立案能力が高まっていると思う市民の割合	－	%	11.0%	5年後	24.3
								10年後	37.5
		4	主観	市長・市職員の政策立案能力が高まっていると思う市民の割合	－	%	21.9%	5年後	34.5
								10年後	47.8
40	市民にとって必要な情報が提供され、行政が取り組んでいることが市民に分かりやすい	1	主観	市のホームページが見やすいと思う市民の割合	－	%	31.5%	5年後	44.5
								10年後	57.9
		2	主観	窓口のレスポンスが的確だと思う市民の割合	－	%	51.0%	5年後	62.1
								10年後	71.5
		3	客観	行政の透明度評価値	－		BB	5年後	BBB
								10年後	A
		4	客観	議会の公開度偏差値	－		45.6	5年後	51.2
								10年後	57.1
41	行政は明確な成果目標を持ち、定期的に達成度を確認し、絶えず改善している	1	主観	目標の達成度評価を重視して仕事をしている市職員の割合	－	%	61.7%	5年後	71.4
								10年後	80.1
		2	客観	事業改善、新規事業の提案数		件	94	5年後	124
								10年後	160
		3	客観	成果指標の年度別達成率	－	%			

役割分担値(案)

めざすまちの姿		グラフ						
1	子ども、高齢者、障がい者等への虐待やDVなどがない							
2	子どもから高齢者まで気軽にスポーツを楽しみ、健康に暮らしている							
3	多様な主体者が連携して、将来を見据えた医療や福祉の戦略を実行しており、市民が安心している							
4	元気なじいちゃん、ばあちゃんの姿を見て、若い世代が老後の生き方に夢をもつことができている							
5	誰もが身近に寄り合える場所があり、地域の人と支え合いながら孤立することなく暮らすことができる							
6	支援が必要な人の家族の負担が軽減され、日常生活で困っていない							
7	子どもを産み育てやすいまちになっており、子どもの数が増えている							
8	高齢者、障がい者など誰でも居場所と出番があり、経験や知識を活かして働き、収入と生きがいを得ている							

役割分担値(案)

めざすまちの姿		グラフ						
9	まちが明るく、地域の防犯活動が活発で、犯罪が少ない	個人・家庭 13.9%	市民団体・NPO 15.7%	区・町内会 15.9%	企業・事業所・ 商工会 12.0%	学校 12.2%	豊明市 16.0%	県・国 14.3%
10	人通りが多い場所でもごみが落ちておらず、まちがきれいである	個人・家庭 16.4%	市民団体・NPO 15.3%	区・町内会 16.2%	企業・事業所・ 商工会 13.3%	学校 13.2%	豊明市 14.8%	県・国 10.8%
11	子どもが地域とつながり、大人になったときにも地域で活動している	個人・家庭 18.0%	市民団体・NPO 14.0%	区・町内会 17.7%	企業・事業所・ 商工会 10.7%	学校 15.5%	豊明市 14.3%	県・国 9.9%
12	災害時に行政と民間、地域、近隣市町村との連携がとれている	個人・家庭 13.2%	市民団体・NPO 14.5%	区・町内会 16.0%	企業・事業所・ 商工会 14.1%	学校 11.8%	豊明市 16.7%	県・国 13.6%
13	防災を行政任せにせず、普段から家庭と地域の準備と連携が十分できており、災害時には助け合えることができる	個人・家庭 17.5%	市民団体・NPO 14.0%	区・町内会 16.3%	企業・事業所・ 商工会 12.0%	学校 12.2%	豊明市 16.0%	県・国 12.0%
14	子どもが元気に外で遊んでいる	個人・家庭 17.9%	市民団体・NPO 12.9%	区・町内会 15.1%	企業・事業所・ 商工会 9.9%	学校 16.5%	豊明市 15.9%	県・国 11.8%
15	若い世代も地域で活動し、地域の自治力が高まっている	個人・家庭 17.4%	市民団体・NPO 14.6%	区・町内会 18.3%	企業・事業所・ 商工会 11.3%	学校 12.1%	豊明市 15.6%	県・国 10.7%
16	若い人が豊明市を自分たちのまちとして愛着をもち、新しい感性を活かし、まちづくりが進められている	個人・家庭 14.8%	市民団体・NPO 15.9%	区・町内会 15.5%	企業・事業所・ 商工会 13.9%	学校 12.5%	豊明市 16.6%	県・国 10.7%
17	女性が職場や地域で活躍し続けている	個人・家庭 16.5%	市民団体・NPO 11.5%	区・町内会 12.9%	企業・事業所・ 商工会 18.0%	学校 10.8%	豊明市 15.2%	県・国 14.9%

役割分担値(案)

めざすまちの姿		グラフ						
18	行政や地域が発信する情報を市民が積極的に共有し、活用している	個人・家庭 16.2%	市民団体・NPO 14.7%	区・町内会 16.8%	企業・事業所・商工会 12.3%	学校 11.1%	豊明市 17.8%	県・国 11.1%
19	いじめや自殺、引きこもりがない	個人・家庭 17.6%	市民団体・NPO 12.7%	区・町内会 12.1%	企業・事業所・商工会 11.0%	学校 17.9%	豊明市 15.6%	県・国 13.1%
20	子どもが良いことと悪いことの区別ができる	個人・家庭 18.5%	市民団体・NPO 12.7%	区・町内会 14.4%	企業・事業所・商工会 9.7%	学校 17.8%	豊明市 15.0%	県・国 11.8%
21	教育や子どもに関する予算が確保され、子どもの教育環境がよい	個人・家庭 12.4%	市民団体・NPO 11.1%	区・町内会 9.9%	企業・事業所・商工会 10.2%	学校 17.8%	豊明市 20.0%	県・国 18.7%
22	子どもが、ずっと育ってきた豊明を大好きでいる	個人・家庭 14.8%	市民団体・NPO 14.2%	区・町内会 13.1%	企業・事業所・商工会 14.8%	学校 13.1%	豊明市 18.5%	県・国 11.5%
23	すべての子どもが質の高い学びに参加し、生きるための学力が向上している	個人・家庭 17.7%	市民団体・NPO 11.3%	区・町内会 10.6%	企業・事業所・商工会 9.3%	学校 19.3%	豊明市 17.0%	県・国 14.7%
24	子どもの個性や感性を尊重し、伸ばしている	個人・家庭 18.9%	市民団体・NPO 13.8%	区・町内会 12.0%	企業・事業所・商工会 10.1%	学校 17.7%	豊明市 15.3%	県・国 12.2%
25	子どもが夢を持ち、将来グローバル(グローバル+ローカル)に活躍できる人材に育っている	個人・家庭 16.7%	市民団体・NPO 13.3%	区・町内会 11.5%	企業・事業所・商工会 12.4%	学校 16.6%	豊明市 16.2%	県・国 13.3%
26	市民が豊明の歴史・伝統・文化に誇りを持ち、次世代が継承し創造している	個人・家庭 14.5%	市民団体・NPO 15.5%	区・町内会 13.6%	企業・事業所・商工会 13.3%	学校 15.1%	豊明市 17.0%	県・国 11.0%

役割分担値(案)

めざすまちの姿		グラフ						
27	道路環境がよく、歩行者も自転車も自動車も安全に通行することができる	個人・家庭 15.1%	市民団体・NPO 11.6%	区・町内会 12.4%	企業・事業所・商工会 12.0%	学校 13.3%	豊明市 18.3%	県・国 17.3%
28	交通の利便性がよく、市外から人が移り住んだり、通勤・通学している	個人・家庭 12.4%	市民団体・NPO 10.5%	区・町内会 11.2%	企業・事業所・商工会 17.1%	学校 11.3%	豊明市 20.2%	県・国 17.2%
29	空気がきれいである	個人・家庭 12.1%	市民団体・NPO 11.4%	区・町内会 10.7%	企業・事業所・商工会 18.6%	学校 10.4%	豊明市 18.6%	県・国 18.3%
30	日常生活は自然に親しむことができると同時に生活に不自由のないコンパクトシティとなっている	個人・家庭 11.7%	市民団体・NPO 12.9%	区・町内会 11.7%	企業・事業所・商工会 17.0%	学校 10.2%	豊明市 20.3%	県・国 16.3%
31	豊明市に魅力があふれ、「通過するまち」から、「足を運んでくれるまち」になっている	個人・家庭 11.0%	市民団体・NPO 15.1%	区・町内会 11.7%	企業・事業所・商工会 18.7%	学校 9.8%	豊明市 18.9%	県・国 14.8%
32	市内に遊ぶ場所や働く場所があり、豊明市が潤っている	個人・家庭 11.4%	市民団体・NPO 13.4%	区・町内会 10.7%	企業・事業所・商工会 19.5%	学校 10.0%	豊明市 19.1%	県・国 15.9%
33	若い人たちが地元で働ける	個人・家庭 12.5%	市民団体・NPO 11.9%	区・町内会 9.7%	企業・事業所・商工会 20.6%	学校 11.1%	豊明市 18.7%	県・国 15.5%
34	エネルギーの地産地消をめざし、再生可能エネルギーの利活用を行っている	個人・家庭 15.7%	市民団体・NPO 12.4%	区・町内会 9.4%	企業・事業所・商工会 17.0%	学校 10.3%	豊明市 17.9%	県・国 17.3%
35	行政は積極的に市民からの意見を吸い上げる工夫や努力をしている	個人・家庭 15.5%	市民団体・NPO 14.8%	区・町内会 13.9%	企業・事業所・商工会 12.2%	学校 10.5%	豊明市 20.6%	県・国 12.4%

役割分担値(案)

めざすまちの姿		グラフ																					
36	世代、性別などで不公平感のない予算配分や施策となっている	<table><thead><tr><th>項目</th><th>割合</th></tr></thead><tbody><tr><td>個人・家庭</td><td>12.0%</td></tr><tr><td>市民団体・NPO</td><td>12.4%</td></tr><tr><td>区・町内会</td><td>11.6%</td></tr><tr><td>企業・事業所・商工会</td><td>12.2%</td></tr><tr><td>学校</td><td>11.3%</td></tr><tr><td>豊明市</td><td>22.6%</td></tr><tr><td>県・国</td><td>18.0%</td></tr></tbody></table>						項目	割合	個人・家庭	12.0%	市民団体・NPO	12.4%	区・町内会	11.6%	企業・事業所・商工会	12.2%	学校	11.3%	豊明市	22.6%	県・国	18.0%
項目	割合																						
個人・家庭	12.0%																						
市民団体・NPO	12.4%																						
区・町内会	11.6%																						
企業・事業所・商工会	12.2%																						
学校	11.3%																						
豊明市	22.6%																						
県・国	18.0%																						
37	税収が確保され、持続可能な財政運営となっている	<table><thead><tr><th>項目</th><th>割合</th></tr></thead><tbody><tr><td>個人・家庭</td><td>11.2%</td></tr><tr><td>市民団体・NPO</td><td>10.8%</td></tr><tr><td>区・町内会</td><td>10.4%</td></tr><tr><td>企業・事業所・商工会</td><td>15.3%</td></tr><tr><td>学校</td><td>10.0%</td></tr><tr><td>豊明市</td><td>23.1%</td></tr><tr><td>県・国</td><td>19.1%</td></tr></tbody></table>						項目	割合	個人・家庭	11.2%	市民団体・NPO	10.8%	区・町内会	10.4%	企業・事業所・商工会	15.3%	学校	10.0%	豊明市	23.1%	県・国	19.1%
項目	割合																						
個人・家庭	11.2%																						
市民団体・NPO	10.8%																						
区・町内会	10.4%																						
企業・事業所・商工会	15.3%																						
学校	10.0%																						
豊明市	23.1%																						
県・国	19.1%																						
38	市職員の顧客サービス向上の意識が高く、市民のほうを見て仕事をしている	<table><thead><tr><th>項目</th><th>割合</th></tr></thead><tbody><tr><td>個人・家庭</td><td>13.7%</td></tr><tr><td>市民団体・NPO</td><td>11.9%</td></tr><tr><td>区・町内会</td><td>12.3%</td></tr><tr><td>企業・事業所・商工会</td><td>11.4%</td></tr><tr><td>学校</td><td>11.3%</td></tr><tr><td>豊明市</td><td>24.9%</td></tr><tr><td>県・国</td><td>14.5%</td></tr></tbody></table>						項目	割合	個人・家庭	13.7%	市民団体・NPO	11.9%	区・町内会	12.3%	企業・事業所・商工会	11.4%	学校	11.3%	豊明市	24.9%	県・国	14.5%
項目	割合																						
個人・家庭	13.7%																						
市民団体・NPO	11.9%																						
区・町内会	12.3%																						
企業・事業所・商工会	11.4%																						
学校	11.3%																						
豊明市	24.9%																						
県・国	14.5%																						
39	市長や議会、行政は、まちを良くしていくために外からの知識を吸収し、失敗を恐れず果敢にチャレンジしている	<table><thead><tr><th>項目</th><th>割合</th></tr></thead><tbody><tr><td>個人・家庭</td><td>12.5%</td></tr><tr><td>市民団体・NPO</td><td>13.0%</td></tr><tr><td>区・町内会</td><td>12.3%</td></tr><tr><td>企業・事業所・商工会</td><td>12.7%</td></tr><tr><td>学校</td><td>11.3%</td></tr><tr><td>豊明市</td><td>23.5%</td></tr><tr><td>県・国</td><td>14.7%</td></tr></tbody></table>						項目	割合	個人・家庭	12.5%	市民団体・NPO	13.0%	区・町内会	12.3%	企業・事業所・商工会	12.7%	学校	11.3%	豊明市	23.5%	県・国	14.7%
項目	割合																						
個人・家庭	12.5%																						
市民団体・NPO	13.0%																						
区・町内会	12.3%																						
企業・事業所・商工会	12.7%																						
学校	11.3%																						
豊明市	23.5%																						
県・国	14.7%																						
40	市民にとって必要な情報が提供され、行政が取り組んでいることが市民に分かりやすい	<table><thead><tr><th>項目</th><th>割合</th></tr></thead><tbody><tr><td>個人・家庭</td><td>12.8%</td></tr><tr><td>市民団体・NPO</td><td>13.6%</td></tr><tr><td>区・町内会</td><td>12.4%</td></tr><tr><td>企業・事業所・商工会</td><td>12.1%</td></tr><tr><td>学校</td><td>10.3%</td></tr><tr><td>豊明市</td><td>24.0%</td></tr><tr><td>県・国</td><td>14.9%</td></tr></tbody></table>						項目	割合	個人・家庭	12.8%	市民団体・NPO	13.6%	区・町内会	12.4%	企業・事業所・商工会	12.1%	学校	10.3%	豊明市	24.0%	県・国	14.9%
項目	割合																						
個人・家庭	12.8%																						
市民団体・NPO	13.6%																						
区・町内会	12.4%																						
企業・事業所・商工会	12.1%																						
学校	10.3%																						
豊明市	24.0%																						
県・国	14.9%																						
41	行政は明確な成果目標を持ち、定期的に達成度を確認し、絶えず改善している	<table><thead><tr><th>項目</th><th>割合</th></tr></thead><tbody><tr><td>個人・家庭</td><td>10.9%</td></tr><tr><td>市民団体・NPO</td><td>12.9%</td></tr><tr><td>区・町内会</td><td>12.2%</td></tr><tr><td>企業・事業所・商工会</td><td>12.5%</td></tr><tr><td>学校</td><td>11.1%</td></tr><tr><td>豊明市</td><td>25.1%</td></tr><tr><td>県・国</td><td>15.4%</td></tr></tbody></table>						項目	割合	個人・家庭	10.9%	市民団体・NPO	12.9%	区・町内会	12.2%	企業・事業所・商工会	12.5%	学校	11.1%	豊明市	25.1%	県・国	15.4%
項目	割合																						
個人・家庭	10.9%																						
市民団体・NPO	12.9%																						
区・町内会	12.2%																						
企業・事業所・商工会	12.5%																						
学校	11.1%																						
豊明市	25.1%																						
県・国	15.4%																						

健康福祉

めざすまちの姿		市民ができること（案）
1	子ども、高齢者、障がい者等への虐待やDVなどがない	① 子どもや高齢者、障がい者等への虐待やDV等の状況を理解するための勉強会等を行うことができます。 ② 地域で相談会等の場をつくり、虐待やDVを未然に防ぐ努力をすることができます。 ③ 虐待やDVを見つけたら、警察等へ通報することができます。 ④ 虐待は個々の家庭だけの問題ではなく社会の問題という意識をもった「地域のおせっかい者」になることができます。
2	子どもから高齢者まで気軽にスポーツを楽しみ、健康に暮らしている	① ご近所や友達同士でスポーツする機会に誘い合うことができます。 ② スポーツ大会を企画し、運営することができます。 ③ 歩いたり、自転車の利用を増やすことができます。 ④ 自分の得意なスポーツを教えて、スポーツの輪を広げることができます。 ⑤ 地域に根づいたスポーツを考え、実践することができます。
3	多様な主体者が連携して、将来を見据えた医療や福祉の戦略を実行しており、市民が安心している	① 地域の中で世代を超えて交流できる機会をつくり、支援が必要な人を見守っていくことができます。 ② 企業は、積極的に障がい者を雇用することができます。 ③ 一人ひとりが、自分ができることを考え、互いの立場を理解し連携に努めることができます。
4	元気なじいちゃん、ばあちゃんの姿を見て、若い世代が老後の生き方に夢をもつことができている	① 地域の中にじいちゃん、ばあちゃんが集える場所をつくることができます。 ② 自分の楽しみを見つけてがんばっているじいちゃん、ばあちゃんを、家族は見守り応援することができます。 ③ 町内の行事を考えると、多世代が参加できる内容を盛り込むことができます。 ④ じいちゃん、ばあちゃんは、自分の得意なことを若者に教えることができます。

5	誰もが身近に寄り合える場所があり、地域の人と支え合いながら孤立することなく暮らすことができる	① 一人ひとりが、思いやりの気持ちを持って他者に接することができます。 ② 町内のイベントの時などに声をかけたり、誘い合うことができます。 ③ 地域の中にたくさんの集える場所をつくることができます。 ④ 気の合う仲間同士でいろんなサークルをつくることができます。
6	支援が必要な人の家族の負担が軽減され、日常生活で困ってない	① 近所同士で声をかけあい、町内での情報共有を密にすることで、困っている方が孤立しないようにすることができます。 ② NPOなどは、支援が必要な人の家族に対してサポートをすることができます。
7	子どもを産み育てやすいまちになっており、子どもの数が増えている	① 地域で子育てを見守り、毎日小さな親切を心がけることができます。 ② 地域で子どもたちがのびのびと遊べる場をつくることができます。 ③ 企業や商店、NPO は、子ども向けのサービスを増やすことができます。
8	高齢者、障がい者など誰でも居場所と出番があり、経験や知識を活かして働き、収入と生きがいを得ている	① イベントや行事などさまざまな活動で、高齢者や障がい者など誰もが担い手になれるように出番をつくることができます。 ② コミュニティビジネス(※)など身近なところで仕事をつくり、雇用の機会を増やしていくことができます。 ※地域の課題を地域住民が主体的に、ビジネスの手法を用いて解決する取り組み

地域・市民生活

めざすまちの姿		市民ができること（案）
9	まちが明るく、地域の防犯活動が活発で、犯罪が少ない	① 暗い道をなくすために、各家庭が夜に門灯をつけることができます。 ② 近所での声かけや防犯パトロールを行うことができます。 ③ 危ないと感じた場所を報告・共有し、対策を考えることができます。
10	人通りが多い場所でもごみが落ちておらず、まちがきれいである	① 挨拶を活発にして、ポイ捨てできない雰囲気をつくることができます。 ② ポイ捨てされているゴミを見かけたら拾うことができます。 ③ 各家庭が、家の周りの草むしりやごみ拾いを行うことができます。
11	子どもが地域とつながり、大人になったときにも地域で活動している	① 部活が休みのときなどに、子どもが地域の活動に参加できるように促すことができます。 ② 地域の祭りなどで子ども主体の催し物を増やすことができます。
12	災害時に行政と民間、地域、近隣市町村との連携がとれている	① 防災訓練の目的をしっかりと共有し、積極的に防災訓練に参加することができます。 ② 地域は、行政との情報共有を蜜に行い、災害に備えることができます。
13	防災を行政任せにせず、普段から家庭と地域の準備と連携が十分できている	① 普段から家庭で防火設備の点検や非常食の備蓄、避難経路の確認を行うことができます。 ② 近所付き合いをよくし、地域でお互いの理解を進め、協力し合うことができます。 ③ アレルギー、障がいなど非常時に理解が必要なことを地域で認識し、対策を立てることができます。 ④ ハザードマップを活用して、防災に関する情報を市民同士で共有することができます。

14	子どもが元気に外で遊んでいる	① 地域の公園を清掃したり、見守りボランティアを行うことで、子どもが安心して外で遊べる環境をつくることができます。 ② 子どもと遊んだり、語り合う企画を考え、開催することができます。 ③ 地域で起こった子どもの事故や犯罪に関する情報を速やかに共有し、対策を考えることができます。 ④ 保護者が子どもの外遊びを促すことができるように、地域で応援することができます。
15	若い世代も地域で活動し、地域の自治力が高まっている	① 地域のイベントやサークル活動など若い世代に地域の情報を伝えることができます。 ② 若い世代が自ら地域でイベントなどを企画・実施できるように、地域が応援することができます。 ③ 町内会で青年部などを作り、役割を任せることで、若い世代の力を活かすことができます。
16	若い人が豊明市を自分たちのまちとして愛着をもち、新しい感性を活かし、まちづくりが進められている	① 豊明に愛着をもってもらうために、学校や地域の教室などで、若い人が豊明の歴史や文化を学ぶ機会を増やすことができます。 ② まちづくりの意思決定の場に若い人が積極的に参加し、意見することができます。
17	女性が職場や地域で活躍し続けている	① 男性は、男女共同参画に関するセミナーに参加し、男女共同参画についての意識を高めることができます。 ② 女性が活躍できるようなテーマでイベントを開催することができます。 ③ 市内近郊で、女性が働ける企業の紹介や必要な資格を説明するためのセミナーを開催することができます。
18	行政や地域が発信する情報を市民が積極的に共有し、活用している	① 広報を積極的に読み、良いと思った情報を周りの人に伝えることができます。 ② 町内の掲示板のデザインを工夫するなど、誰もが目を向ける工夫をすることができます。 ③ 町内会や商店などが、人が気軽に集まることのできる場を設け、情報を共有し、活用することができます。

教育・歴史文化

めざすまちの姿		市民ができること（案）
19	いじめや自殺、引きこもりがない	① 各家庭で家族が話をする時間をもつように心掛けることができます。 ② 近所の大人も子どもも交流することで、プライバシーを尊重しながら互いのことを知っておくことができます。 ③ 近くに悩んでいる人がいたら、相談にのったり、適切な相談場所を紹介することができます。
20	子どもが良いことと悪いことの区別ができる	① 日ごろから家族で色々なことについて話をし、善悪に対する価値観を共有することができます。 ② 近所の子どもにあいさつをしたり気軽に話しかけ、良いことは褒め、悪いことは注意することができます。 ③ 子どもに、劇や映画を観たり、本を読むなど、物事を客観的にみる力を養ったり、考えたりする機会をつくることができます。
21	教育や子どもに関する予算が確保され、子どもの教育環境がよい	① 子どもに教育予算がどう使われているかに興味を持って、知ることができます。 ② 進んでアンケートに回答する等、市や学校に積極的に意見や要望を伝えることができます。 ③ 地域やNPO、企業など色々な主体者と連携して、得意技を伝える機会の提供や子どもが参加できるサークルを作ることができます。
22	子どもが、ずっと育ってきた豊明を大好きでいる	① 大人は豊明に愛情をもち、まちの良さを伝えることができます。 ② 子どもが豊明の歴史や文化、自然などに触れる機会を設けることができます。 ③ 子どもの頃から色々な仲間とつながり輪を広げることができます。

23	すべての子どもが質の高い学びに参加し、生きるための学力が向上している	① 体験教室への参加や大人の手伝いなど、子どもに様々な経験をさせることができます。 ② 教員だけでなく、誰もが子どもを教える立場であることを自覚し、努力することができます。 ③ 先生とのコミュニケーションを図り、学校教育に協力することができます。
24	子どもの個性や感性を尊重し、伸ばしている	① 子どもの自発性が高まるように、各家庭で子どもの役割をつくることができます。 ② 市民が作品展等を開催したり、さまざまな情報を発信し、子どもが色々なものに触れたり体験できる機会をつくることができます。 ③ 大人が子どもに「まちがっても大丈夫」「話したいことを話してもいい」という雰囲気をつくることができます。 ④ 子ども一人ひとりの価値観を大切にすることができます。
25	子どもが夢を持ち、将来グローバル（グローバル＋ローカル）に活躍できる人材に育っている	① グローバルに活躍する大人の姿を子どもに見せることができます。 ② 子どもに役割を持たせ、地域で色々なことを体験させることができます。 ③ 大人は子どもの夢を応援することができます。
26	市民が豊明の歴史・伝統・文化に誇りを持ち、次世代が継承し創造している	① 豊明の伝統行事を継承していくことができます。 ② 豊明の歴史・伝統・文化に関するイベントなどを企画・運営し、発信することができます。 ③ 豊明の歴史・伝統・文化に関するイベントに子どもと一緒に積極的に参加することができます。

都市基盤・産業

めざすまちの姿	市民ができること（案）
27 道路環境がよく、歩行者も自転車も自動車も安全に通行することができる	① 学校や地域で交通安全教育講習会を開催することができます。 ② 地域で道路の一斉清掃を行い、障害物や道路損傷箇所などがないかの点検も行うことができます。 ③ 地域で子どもの通学時の見守りを行うことができます。 ④ 市民は違法駐車やマナー不良車を発見したときに、警察に通報することができます。
28 交通の利便性が高く、市外から人が移り住んだり、通勤・通学している	① 豊明市は交通の便など住環境が良いことを市外の人に積極的にアピールすることができます。 ② 誰もが利用しやすい交通体系について、様々な主体が集まって議論することができます。
29 空気がきれいである	① 公共交通機関を優先的に利用することができます。 ② 市民や企業はエコカーへの転換やエコドライブを行うことができます。 ③ 緑化活動を行うことができます。 ④ 資源ごみの分別など、3R（リデュース、リユース、リサイクル）を推進することができます。
30 日常生活は自然に親しむことができると同時に生活に不自由のないコンパクトシティとなっている	① 市民や企業は集約拠点づくりに参加・協力することができます。 ② 企業やNPOは災害に強い中心市街地の開発に協力することができます。

31	豊明市に魅力があふれ、「通過するまち」から、「足を運んでくれるまち」になっている	① 市民やNPO、企業は、豊明グルメ・特産品の開発や発信を行うことができます。 ② 市民やNPO、企業は、豊明の歴史や文化をテーマとしたイベントなどを企画・運営することができます。 ③ 市民一人ひとりが観光大使になり、豊明の魅力を伝えることができます。
32	市内に遊ぶ場所や働く場所があり、豊明市が潤っている	① 農業生産法人を立ち上げるなど、新たな産業の可能性について考えることができます。 ② 企業やNPOは、駅前空き店舗や空間を活用し、出店することができます。 ③ 市民や地域は企業誘致への理解と協力をすることができます。
33	若い人たちが地元で働ける	① 産学交流や職場体験を行い、若者に地元企業について知ってもらう機会を増やすことができます。 ② 企業・学校が連携し、若者の地元での就職を促進することができます。 ③ 企業や金融機関、NPOなどが連携し、起業推進フォーラムを立ち上げるなど、若者の起業を応援することができます。
34	エネルギーの地産地消をめざし、再生可能エネルギーの利活用を行っている	① 市民やNPO、企業は、再生可能エネルギーを積極的に利用することができます。 ② 市民やNPO、企業は、エネルギーの地産地消の推進に協力することができます。

行政経営

めざすまちの姿		市民ができること（案）
35	行政は積極的に市民からの意見を吸い上げる工夫や努力をしている	① 「市長への手紙・Eメール」等を活用し、市民が抱える課題を積極的に伝えることができます。 ② 行政の主催する会議や公聴会などに積極的に参加し、意見を述べるすることができます。 ③ 町内会・NPOなどが主催する活動に行政職員を招き、情報交換を実施することができます。
36	世代、性別などで不公平感のない予算配分や施策となっている	① 豊明市の行財政に関心を持ち、行政資料やウェブサイトなどから必要な情報を見ることができます。 ② 現在の予算配分に関する仕組みや資料を市民にも分かりやすいものにし、それを広く周知するよう、職員の意識改革を働きかけることができます。 ③ 市民が予算配分や施策の具体的な内容を理解しやすいような仕組み（見える化）を考えて、行政に提案することができます。
37	税収が確保され、持続可能な財政運営となっている	① 国民の三大義務のひとつである「納税」を遵守することができます。 ② 豊明市に居住してもらえるように、市の良さを市外の人に積極的に伝えることができます。 ③ 市民一人ひとりが、行政に依頼する前に、自分たちでできないかを考え、行動することができます。
38	市職員の顧客サービス向上の意識が高く、市民のほうを見て仕事をしている	① 市職員が市民ニーズを把握できるように地域での意見交換の場に積極的に参加し提案することができます。 ② 行政の仕事について適正に評価できる能力を身に付けることができます。 ③ 市職員と連携し、共通の目標を達成できるように努力することができます。

39	市長や議会、行政は、まちを良くしていくために外からの知識を吸収し、失敗を恐れず果敢にチャレンジしている	① 民間企業で働く市民のノウハウを積極的に市長・行政に提供し、活用できるように活動することができます。 ② 民間を活用するなどのアイデアを提言し、使命感を持って行政と共に実行していくことができます。 ③ 企業・NPOは積極的に市職員を受け入れ、民間での業務を経験できる機会を提供することができます。
40	市民にとって必要な情報が提供され、行政が取り組んでいることが市民に分かりやすい	① 行政に関する情報が分かりやすく的確に提供されることの必要性、重要性を市に積極的に訴え、提案することができます。 ② 行政の広報手段の有効性を検討し、提案することができます。 ③ 行政の取り組みを広く伝えられるように、メディアの取材や番組制作に協力することができます。
41	行政は明確な成果目標を持ち、定期的に達成度を確認し、絶えず改善している	① 定期的に進捗をフォローする市民レベルでの機関を設置することができます。 ② 公表される成果目標の進捗度合いに関心を持ち、その推移を見守ることができます。 ③ 目標が未達成の事業については改善や廃止を提案することができます。

第5次豊明市総合計画

キャッチフレーズの検討手法について（案）

1. 目的

総合計画は、豊明市の今後10年で市民が望んでいる「めざすまちの姿」を実現するための計画となる。この総合計画が描いている10年後の豊明市の将来像を象徴するような「キャッチフレーズ」を設定することで、市民に総合計画及び豊明市の将来像のイメージを掴んでいただき、より市民に親しみのある計画とし、市民協働のもと計画のより一層の推進を図ることを目的とする。

2. 豊明市総合計画キャッチフレーズの沿革

- ・第1次（昭和49－60年度）
「豊かで 明るく 住みよい豊明市」
- ・第2次（昭和60－平成7年度）
「豊かで 明るく 健康な文化都市」
- ・第3次（平成8－17年度）
「住んでよかった 住みつづけたいまち」
- ・第4次（平成17－27年度）
「人・自然・文化 ほほえむ安心都市」
- ・第5次（平成28－37年度）
「_____」

3. 検討プロセス 及び スケジュール

①全職員及び総合計画審議会委員によるアイデア出し

今回の総合計画は、政策マーケティングの手法により、市民ニーズから総合計画の柱となる41の「めざすまちの姿」を掲げている事を最大の特徴としている。

よって、アイデアを募る際は、めざすまちの姿マトリクスを示し、その中から思い浮かぶキャッチフレーズの提案を募集する。

②候補の絞り込み

事務局にて、提案されたキャッチフレーズの中から、複数のキャッチフレーズ候補を選定、作成する。

③経営戦略会議での審議

キャッチフレーズ案について、経営戦略会議及び総合計画審議会での審議を経て決定する。

第5次豊明市総合計画

キャッチフレーズのアイデアを募集します！

総合計画は、豊明市の今後10年で市民が望んでいる「めざすまちの姿」を実現するための市の最上位計画です。この総合計画が描いている10年後の豊明市の将来像を一言で象徴するような「キャッチフレーズ」を設定することで、市民に総合計画及び豊明市の将来像のイメージを掴んでいただき、市民により親しみのある計画とし、市民協働による計画のより一層の推進を図りたいと考えています。

今回の総合計画は、政策マーケティングの手法により、市民ニーズから総合計画の柱となる41の「めざすまちの姿」を掲げていることを最大の特徴としていることから、その結果をまとめた「めざすまちの姿マトリクス」を参考に、そこから思い浮かぶ今後10年のまちづくりを表すキャッチフレーズの提案をお願いします。



■あなたが考えたキャッチフレーズ

.

<職員の場合>



課名 氏名

【提出期限：平成27年4月10日（金）】
企画政策課 矢野までメール返信してください。



<総合計画審議会委員の場合>

総合計画審議会委員

氏名

【提出期限平成27年4月10日（金）】

豊明市役所企画政策課

TEL 0562-92-8318

FAX 0562-92-1141

E-mail kikaku@city.toyoake.lg.jp



■ めざすまちの姿マトリクス（分野×理念）

	安心	快適	健やか	つながり	誠実	元気	挑戦
理念	心配や不安がなく、明るく暮らせるまち	きれいで、心地よく、誰もが住みやすいまち	子どもからお年寄りまで、のびのびと心身ともに健康に暮らせるまち	地域の中でお互いが支えあい、助け合えるまち	健全で透明性が高い行政運営で、市民に開かれたまち	誰もがいきいきと明るく、活気にあふれているまち	誰もが生きがいを持ち、夢や目標に向かって踏み出せるまち
①健康福祉	子ども、高齢者、障がい者等の虐待やDVなどがない		子どもから高齢者まで気軽にスポーツを楽しみ、健康に暮らしている	誰もが身近に寄り添える場所があり、地域の人と支え合いながら、孤立することなく暮らすことができる		子どもを産み育てやすいまちとなっており、子どもの数が増えている	高齢者、障がい者など誰でも居場所と出番があり、経験や知識を活かして働き、収入と生きがいを得ている
	多様な主体者が連携して、将来を見据えた医療や福祉の戦略を実行しており、市民が安心している			支援が必要な人の家族の負担が軽減され、日常生活で困ってない			
			元気なじいちゃん、ばあちゃんの姿を見て、若い世代が老後の生き方に夢をもつことができている				
②地域・市民生活	まちが明るく、地域の防犯活動が活発で、犯罪が少ない	人通りが多い場所でもごみが落ちておらず、まちがきれいである		子どもが地域とつながり、大人になったときにも地域で活動している		子どもが元気に外で遊んでいる	若い世代も地域で活動し、地域の自治力が高まっている
				災害時に行政と民間、地域、近隣市町村との連携がとれている			若い人が豊明市を自分たちのまちとして愛着をもち、新しい感性を活かし、まちづくりが進められている
				防災を行政任せにせず、普段から家庭と地域の準備と連携が十分できており、災害時には助け合うことができる			女性が職場や地域で活躍し続けている
				行政や地域が発信する情報を市民が積極的に共有し、活用している			
③教育・歴史文化	いじめや自殺、引きこもりがない		教育や子どもに関する予算が確保され、子どもの教育環境がよい	市民が豊明の歴史・伝統・文化に誇りをもち、次世代が継承し創造している		子どもの個性や感性を尊重し、伸ばしている	子どもが夢を持ち、将来グローバル（グローバル＋ローカル）に活躍できる人材に育っている
	子どもが良いことと悪いことの区別ができる		子どもが、ずっと育ってきた豊明を大好きでいる				すべての子どもが質の高い学びに参加し、生きるための学力が向上している
④都市基盤・産業		道路環境がよく、歩行者も自転車も自動車も安全に通行することができる				豊明市に魅力があふれ、「通過するまち」から、「足を運んでくれるまち」になっている	若い人たちが地元で働ける
		交通の利便性がよく、市外から人が移り住んだり、通勤・通学している				市内に遊ぶ場所や働く場所があり、豊明市が潤っている	エネルギーの地産地消をめざし、再生可能エネルギーの利活用を行っている
		空気がきれいである					
		日常生活は自然に親しむことができると同時に生活に不自由のないコンパクトシティとなっている					
⑤行政経営					行政は積極的に市民からの意見を吸い上げる工夫や努力をしている		市長や議会、行政は、まちを良くしていくために外からの知識を吸収し、失敗を恐れず果敢にチャレンジしている
					世代、性別などで不公平感のない予算配分や施策となっている		
					税収が確保され、持続可能な財政運営となっている		
					市職員の顧客サービス向上の意識が高く、市民のほうを見て、仕事をしている		
					市民にとって必要な情報が提供され、行政が取り組んでいることが市民に分かりやすい		
					行政は明確な成果目標をもち、定期的に達成度を確認し、絶えず改善している		

第5次豊明市総合計画策定スケジュール

